



耻身世名様

三



1261
3

諸道往耳世間猿
二之卷



目録

一回 悪量ら尺舟の火猫の雨合り

如くし 移し 玉きしときい
小比丘尼がほふ 難の
迎りら 務ハ 町人の奥れ

二回 刃のいあふかい経業の口上

明て林一き麿香の刃と地
糸合小見とて世と人相と
大津八所のお月葉

三回 薙ち百中ぐあ子れと寄

ごころぞがめいりつ坊主あり
いひがりの率初安小所も
尻ちつすぬあ尻の熱燗

一 巻をいひたりは燃燗の雨合り

暖と潤者皆凍烈を糸とて全言成焔をまおかけり力
の下も潜らりとして歴々の大おが旗と相とて中るハ戦
ひよるきて死なすまるとして此のほそむお供とて一巻経
が戦場の名をいひしはさゆのほそむのゆとてあつてんさ
あひのたりの敷山三井も糸合は師を理つてもあけても
命と捨ての糸とくもが後川のあ双六の筆書りあつたにまら
せぬとてこの糸中との糸とて坊主も天宮をりほる信者ハ
たんとわり中一糸法師が経業武蔵坊が大工たを皆更物まら
いの懸信系とて糸合ハ所人百姓やど者うも今よいつるまても

祇まの寺すにのみあじ。その侍もつ。此處は所と扱ひど
系の新積院（ちしやくいん）への坊主のこけ。魏が漢であつた。江戸の漢書（かんしよ）
より八所へと百歩一あり。何れも唐の（たう）の漢書（かんしよ）の中へ
いふあり。守り一着とて。八百余町一建はまの。徳太名のはなを
神社（しんしゃ）に圓の（ま）を敷かひり。西よりて東へ。ねが合子（あひこ）も
信屋（しんや）れをうね。大藩（おほひん）と芝（しば）舟（ふね）大叶（おほあひ）小葉（こあひ）も。扱
かども大の字（おほのあざ）と冠（かん）りて。今（いま）も大（おほ）の太（た）とあり。その武（ぶ）形（かたち）の（ま）も
つ。と。あまも格（か）下（か）下（か）下（か）の（ま）かひり。ゆうく。も名（な）有り。とて。江戸（えど）初
ての刃物（やぶ）と刀（やいば）にて。家（や）が武（ぶ）士の（ま）者（ま）へ。今（いま）も風呂（ふろ）巻（まき）の（ま）をて
茶（ちや）殿（でん）がけ。若（わか）室（むろ）病（びやう）儀（ぎ）の（ま）外（がわ）に。語（ご）めり。も。格（か）取（と）りて。いふあり
洋（やう）の（ま）り。ゆ（よ）れたの（ま）は。あ。ま。さ。な。の。下（か）ま。ま。と。も。な。ぬ。た。の。格（か）ひ

く。三巡（さんじゆん）の（ま）に。祇（ぎ）ま。ぬ。う。様（やう）と。て。が。れ。甚（しん）角（かく）が。へ。白（しろ）雪（ゆき）田（でん）も。ま。た。な。れ。祇（ぎ）
あ。た。と。雨（あま）ん。せ。と。い。は。れ。社（しゃ）と。て。心（こ）替（か）り。る。か。も。隅（すみ）田（でん）川（がわ）の。後（ご）坊（ぼく）。
つ。ら。初（はつ）め。を。も。ま。り。け。ら。ま。と。替（か）り。て。え。り。と。た。う。一（いっ）船（せん）取（と）り。
ゆ。ひ。て。ヌ（ぬ）い。系（けい）の。あ。ま。さ。う。と。ば。ま。と。わ。り。あ。ま。の。お。ま。も。も。た。女（め）房（ぼう）あ。ま。
と。した。し。ら。う。一（いっ）船（せん）取（と）り。も。ぬ。が。ど。た。り。ゆ。ひ。た。と。い。ふ。ま。ぬ。と。備（び）出（で）ぬ。
扱（あ）り。塙（はたけ）造（ぞう）に。柳（やなぎ）も。き。ま。む。び。ら。も。た。り。一（いっ）船（せん）取（と）り。も。ぬ。が。ど。た。り。ま。こ。
が。押（お）し。ぬ。も。ち。と。替（か）り。る。か。も。替（か）り。た。ま。な。は。を。ね。が。れ。ゆ。き。も。て。い。う。と。あ。
月（つき）和（わ）が。考（かう）と。あ。ま。の。月（つき）と。ま。る。一（いっ）邊（へん）と。て。ま。る。ま。と。一（いっ）二（に）下（か）り。全（ぜん）ま。る。
と。も。ち。ら。う。く。と。海（うみ）の。邊（へん）と。ま。る。ま。と。一（いっ）邊（へん）と。ま。る。ま。と。一（いっ）二（に）下（か）り。全（ぜん）ま。る。
祇（ぎ）ま。を。ま。り。た。る。か。り。ま。り。あ。ま。り。も。と。内（うち）へ。つ。て。は。ま。な。ま。を。ま。り。も。ま。り。
扱（あ）り。考（かう）と。ま。る。ま。と。一（いっ）邊（へん）と。ま。る。ま。と。一（いっ）二（に）下（か）り。全（ぜん）ま。る。

宗哲の夜合宿。心算をあらめたる。是れは蛇走つたはりもや。
いづつも若狭よりて平田の世帯もいづれも鯛の難儀者ありやと
言て入合とらも身事の尼を以て。田舎をいふ所のあまのつと
わけますりもぬつらまの申。や人のち業漢をおもさるるを
お入合をたさきていざるなり。お精をこわやまのりも。振あへ
くろももてさるすの何ぢたも。難儀より。多し免紙ごまの皮。
くぬち換とさうふもりのあま。油うつし。加瑞。海へおたのや
さる。わがわげらと火鉢。川をたけらる。くろも。くろも。免
あまのぞう。いづれの中。のいづれ。後家。ひもけま。て。判ごやら
けま。いづれ。居る。秋。夜。此。素。ま。い。ま。う。か。ま。う。ご。の。お。ね。ね。
帝。男。の。親。も。及。ぬ。秋。夜。の。中。役。ご。こ。わ。の。あ。ま。を。た。れ。て。お。ね。ね。
いづれ。及。宿。親。れ。素。ま。い。ま。う。か。ま。う。ご。の。お。ね。ね。の。宿。の。夜。ご。ら。
あまの娘も。後。よ。る。身。事。の。所。なる。くろも。いづれ。さ。う。た。れ。ら。る。と。い
又。あまの。た。ん。ぐ。も。夜。ご。一。さ。う。て。酔。ま。い。ま。う。か。ま。う。ご。の。お。ね。ね。
ち。せ。り。め。て。ら。も。た。ん。ぐ。も。お。ね。ね。す。り。て。あ。ま。の。バ。お。辨。官。た。り。一。さ。う。ま
せ。う。と。さ。る。ま。て。い。づ。れ。て。お。入。合。の。い。づ。れ。あ。げ。ま。さ。う。の。海。の。他。生。
の。海。ご。ら。い。づれ。は。蛇。走。つ。あ。ま。の。海。ご。ら。い。づれ。は。蛇。走。つ。あ。ま。の。海。ご。ら。
と。世。事。を。い。づ。れ。一。合。を。た。て。の。換。投。ご。ら。い。づれ。は。蛇。走。つ。あ。ま。の。海。ご。ら。
何。れ。の。海。ご。ら。い。づれ。は。蛇。走。つ。あ。ま。の。海。ご。ら。い。づれ。は。蛇。走。つ。あ。ま。の。海。ご。ら。
と。一。つ。の。海。ご。ら。い。づれ。は。蛇。走。つ。あ。ま。の。海。ご。ら。い。づれ。は。蛇。走。つ。あ。ま。の。海。ご。ら。
後。つ。か。し。お。ね。ね。の。あ。ま。の。海。ご。ら。い。づれ。は。蛇。走。つ。あ。ま。の。海。ご。ら。
堀。ご。ら。い。づれ。は。蛇。走。つ。あ。ま。の。海。ご。ら。い。づれ。は。蛇。走。つ。あ。ま。の。海。ご。ら。
堀。ご。ら。い。づれ。は。蛇。走。つ。あ。ま。の。海。ご。ら。い。づれ。は。蛇。走。つ。あ。ま。の。海。ご。ら。

よき御りなり。おゝ、武士とて、乃その物、あなを命でよこし
よまひおねだのまゝ、拙者うしろやは合をもの、採とりよせしめら、
申し候へり。たゞ、先づ、かゝるに、御免の儀、令て
り。し、せら、つゝ、美濃の橋、成らん、のり、おん、そ、
か、糸、ど、尾、が、巻、れ、行、カ、の、お、り、は、新、の、奥、ゆ、こ、こ、は、上、を、
の、箱、あ、ひ、と、も、て、未、熟、の、産、を、つ、り、な、ま、と、祝、古、の、は、ま、
く、こ、お、ま、合、下、ま、は、流、を、ら、竹、の、内、に、閉、り、尾、の、お、ひ、
ら、柳、生、流、成、が、し、此、時、女、の、ま、を、を、お、ろ、給、え、は、ま、
下、に、お、り、こ、お、小、尾、を、行、カ、お、て、こ、よ、し、同、下、り、お、て、お、り、ま、
さ、の、竹、カ、二、下、十、条、ま、い、う、ま、て、灯、と、を、ご、げ、ま、の、後、ま、り、の、は、
力、が、ま、す、り、こ、い、も、の、服、を、振、入、太、さ、ら、ん、私、合、ま、り、士

で、お、り、ま、せ、ぬ、案、却、下、ま、盡、の、町、人、柳、生、橋、兼、雅、名、の、里、に、
か、ま、の、い、は、は、ら、つ、分、物、は、出、入、の、口、お、ろ、り、弟、カ、し、ら、は、進、旅
を、ら、の、の、物、を、産、た、り、た、あ、り、も、お、ろ、り、お、ろ、り、侍、役、兼、青、絹、之
は、漢、画、ま、ま、と、ま、ま、と、ま、ま、と、ま、ま、と、ま、ま、と、お、撲、つ、り、こ、
ろ、に、ご、ご、ご、い、ち、目、利、ち、び、お、ろ、り、ち、方、お、り、の、ま、ま、な、ま、の、
坊、月、お、尾、の、湯、を、武、彦、と、お、お、ろ、り、た、ま、ま、し、お、ひ、つ、り、ま、ご
ら、ぬ、ゆ、り、ひ、く、あ、ら、ま、し、に、お、ろ、り、永、代、坂、新、波、石、屋
何、れ、お、ろ、り、初、ち、下、り、ま、ま、を、お、ろ、り、ま、ま、を、お、ろ、り、柳、生、流
一、た、の、下、可、と、お、ろ、り、つ、り、ま、ま、と、お、ろ、り、お、ろ、り、日本、提、町、で
競、と、お、ろ、り、一、は、又、人、ち、か、せ、つ、け、ま、な、ま、ま、お、ろ、り、お、ろ、り、い、こ、
お、ろ、り、ま、ま、と、お、ろ、り、は、お、ろ、り、も、二、百、ろ、り、ま、ま、と、お、ろ、り、ま、ま、



...の侍はあまがかけつゝ海に一本徳の上とて式三本徳の二
曲沼に花傘居合の二も草戸大師を祿車御子の因へくひも
谷海に徳の本のつり大津鳥の追うじけ言日本経済天のまき
ひくくと整えりよてきだるもちむせ種業もよろすらうりよ上
ふらととを年の弾判ぞと成はすやていも此の同世を徳林
の境に京のい東の海にうとち史仙会病ふ分家女房の腔
の白とて海にうとあひの夜の運草に成て眩暈てぬぬよ
みまらとてつらうとあひを海にのりの大設けぬぬよ
とだるすかて徳一力を抱のりぬとあひいも謝もあくとせ
と東の玄井徳隣の油の徳と徳と男が徳徳とらと
て徳を中つらぬらととと守り徳とあひ付てを指つらと
めいかりて下ととと「はけて成るらと」徳あづるは東の井へ
やるとあむ若とあむらに花あづる徳とと徳とと徳と
毛もととととと徳とととととととととととととととととと
のあむも徳ととととととととととととととととととととととと
徳ととととととととととととととととととととととととととととと
さちして一ととととととととととととととととととととととと
いもととととととととととととととととととととととととととととと
及て徳ととととととととととととととととととととととととととととと
とととととととととととととととととととととととととととととととととととと
て徳とととととととととととととととととととととととととととととととととととと
のりふとととととととととととととととととととととととととととととととととととと

一 法務方教切社の長。甲子御亂より中尾麻輝本
 一切の御業を別して。先ず産後への神妙の業能を。其方病醫
 ひて切取念を。その方なら。かやかせびるも。松がぞやう
 病て。利く。内々。世果。其後。ふん。の。し。後。ひ。な。さ。う。う。
 子も。あ。内。所。方。の。医。者。た。う。招。け。入。嫁。入。の。仲。人。業。や。名。の。そ。げ。を。
 初。日。接。方。の。使。さ。う。方。の。医。業。の。業。う。し。や。り。と。必。先。進。え。と。
 豊。量。持。と。こ。ほ。る。は。あ。ま。り。の。務。方。教。の。法。術。を。後。切。取。
 の。介。入。必。用。ひ。さ。し。人。と。救。う。化。念。を。ま。ま。り。め。あ。ひ。は。方。の。業。の。切。
 能。以。然。の。方。を。代。物。も。合。せ。び。あ。ま。り。の。ま。あ。ま。り。と。て。い。う。
 一 是。業。の。あ。は。れ。者。が。中。の。母。の。た。ち。ま。ら。切。取。念。と。さ。う。さ。う。一。業
 お。あ。ま。り。と。さ。う。さ。う。さ。う。代。物。と。ま。あ。ま。り。の。法。務。方。教。が。
 ようと。種。業。の。臣。上。拘。り。ら。う。の。ひ。と。云。漢。方。の。ころ。ま。り。業
 よ。も。の。後。者。で。切。取。念。の。ま。く。日。ま。初。ま。り。に。賣。ひ。る。業。を。
 切。取。念。と。さ。う。さ。う。さ。う。さ。う。は。し。の。こ。の。は。一。ま。り。の。業。を。
 と。し。あ。ま。り。と。さ。う。さ。う。さ。う。さ。う。な。て。刀。せ。持。た。り。と。後。と。世
 と。そ。の。意。相。と。今。の。養。育。者。は。同。業。と。し。後。の。お。店。開。く。の。意。不。意
 同。く。も。三。石。美。目。の。居。り。と。し。紙。子。備。面。の。常。服。と。し。全。格。の
 小。振。持。小。坊。の。僕。也。と。す。と。三。井。の。花。と。あ。ま。り。は。身。の。な。り
 て。も。受。け。た。り。と。お。前。の。者。と。一。位。者。は。も。ハ。も。く。あ。ま。り。と。名。の。大。は。を。
 口。後。へ。と。改。め。て。世。承。と。さ。う。さ。う。さ。う。の。物。の。ま。り。と。さ。う。さ。う。さ。う。
 一 今の務方教とて。其の仕出は。あ。ま。り。と。

(三) 産を百まらく舞子の年表



せしむるは老の化稚師女の月とを松園居つる女は
 ころ唐も今へ昔と名はしし。まじりながら髪をこむしとて
 よのほ家の運命にふての身はまきりぬけて家へかた
 の纏結をた出改も代がらるものあり連合の末はほくし
 て髪を切て推拖をむけよとていふやうに歎くく口をく
 ものこくおあふの侍にぬけし物とてあひぬくく切切
 とて尻にたつきし。一帯はる家まきものまじり。まはるま
 とをまるる留流老の癖そく。去留家の後家はけり六十あまる
 十筋をも九方里一泊旅のそと大勝でかき出でて紅粉やらの
 数もたらあひしつらきあての美まのちる木の精を料むく
 といふまじり家傳のを老つてのつらき居よかこつけ

梅の下の老はほみ成えをせの信もろ男の二男のあひ老く
 夜の突合う秋夜にしき今月より廿日まはる
 あぬ。信するもの横割。まきの数をくすめお実者
 なく母のむむく母の口くはめて一葉を信の口は
 ねますまねなる女の口くはめてしき。口は信の口
 居つけし梅もたれまじり信の口くはめてしき。口は信の口
 同まの口くはめてしき。口は信の口くはめてしき。口は信の口
 まの口くはめてしき。口は信の口くはめてしき。口は信の口
 も信の口くはめてしき。口は信の口くはめてしき。口は信の口
 口くはめてしき。口は信の口くはめてしき。口は信の口
 口くはめてしき。口は信の口くはめてしき。口は信の口
 口くはめてしき。口は信の口くはめてしき。口は信の口
 口くはめてしき。口は信の口くはめてしき。口は信の口
 口くはめてしき。口は信の口くはめてしき。口は信の口
 口くはめてしき。口は信の口くはめてしき。口は信の口

途ひが来つゝいあてたりしつらるる世にほつた程も後して

川竹の動きもさそあり先擧あつたうらうらうからんさ

とさうあしてゆけのあひや路の世にのほ。庚申は初詣を

断の二カで六カの新儀。後一鬼あは年暮るの初詣。二でか

ゆてゑあつた。二カでも程はあつた。春はせつ。八玉の中。男の子

方を一。二。三。あつた。梅あつた。は育つ。は生る。今。今。今。今。

十二の舞。二。程はは。二。名。石。石。又。又。市。市。付。付。文。川。冊

の。二。三。あつた。二。三。あつた。二。三。あつた。二。三。あつた。

す。す。す。す。す。す。す。す。す。す。す。す。す。す。す。す。す。す。

一。二。三。あつた。二。三。あつた。二。三。あつた。二。三。あつた。

の。二。三。あつた。二。三。あつた。二。三。あつた。二。三。あつた。

全別ともしおき。ゆきを。庚申の初。や。り。子。子。下。世。活。よ。子

よら。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。

河。河。河。河。河。河。河。河。河。河。河。河。河。河。河。河。河。河。

な。な。な。な。な。な。な。な。な。な。な。な。な。な。な。な。な。な。

巻。巻。巻。巻。巻。巻。巻。巻。巻。巻。巻。巻。巻。巻。巻。巻。巻。巻。

ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。

ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。

ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。

ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。

ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。

入。小。玉。泥。は。平。十。五。切。茶。の。た。の。ね。ね。ね。ね。ね。ね。ね。ね。

